

JIS

紙，板紙及びパルプー 拡散青色光反射率の測定方法ー 室内昼光条件（ISO 白色度）

JIS P 8148 : 2018

(ISO 2470-1 : 2016)

(JAPAN TAPPI/JSA)

平成 30 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 基盤技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
(委員)	伊藤 納奈	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	江前 敏晴	筑波大学
	大久保 友恵	レンゴー株式会社
	大谷 聖子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大谷 吉生	金沢大学
	大平 由紀子	日本製紙株式会社
	柿本章子	主婦連合会
	金田 徹	関東学院大学
	重松 康夫	一般財団法人日本規格協会
	鈴木 知道	東京理科大学
	高津 章子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	田原 江利子	王子ホールディングス株式会社
	中本文男	Na 計測合同会社
	淵田 隆義	女子美術大学
	古谷 涼秋	東京電機大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 5.7.1 改正：平成 30.2.20

官 報 公 示：平成 30.2.20

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会

(〒104-8139 東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4841)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：基盤技術専門委員会 (委員長 奈良 広一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	3
5 装置	3
6 試料採取及び調湿	3
7 試験片の調製	4
8 操作	4
9 試験結果の表し方	4
10 報告書	4
附属書 A (規定) ISO 白色度測定用反射率計の分光特性	6
附属書 B (規定) 紫外光校正サービス	8
附属書 C (参考) 精度	10
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、紙パルプ技術協会 (JAPAN TAPPI) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS P 8148:2001** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

紙、板紙及びパルプ—拡散青色光反射率の測定方法 —室内昼光条件 (ISO 白色度)

Paper, board and pulps—Measurement of diffuse blue reflectance factor—
Indoor daylight conditions (ISO brightness)

序文

この規格は、2016年に第2版として発行されたISO 2470-1を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、紙、板紙及びパルプのISO白色度(拡散青色光反射率)の測定方法について規定する。

この規格は、白色及び白色に近いパルプ、紙及び板紙に適用する。測定は、照明光に含まれる紫外光エネルギーが標準蛍光白色面を用いてCIEイルミネラントC[1]に対応するように調整した装置によって可能である。CIEイルミネラントCは、適切な割合の紫外光[2]を含んでいるので室内昼光条件を代表するものである。

注記1 D65白色度と呼ばれる特性は、この規格で規定されているよりもはるかに多くの紫外光量を含んでいるCIE標準イルミネラントD65[3]に対応するように調整した装置を用いて測定されている。D65白色度の測定については、ISO 2470-2[4]に記載されている。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 2470-1:2016, Paper, board and pulps—Measurement of diffuse blue reflectance factor—Part 1:
Indoor daylight conditions (ISO brightness) (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS P 8110 紙及び板紙—平均品質を測定するためのサンプリング方法

注記 対応国際規格: ISO 186: Paper and board—Sampling to determine average quality (IDT)

JIS P 8201 製紙用パルプの試料採取方法

注記 対応国際規格: ISO 7213: Pulps—Sampling for testing

JIS P 8212 パルプ—拡散青色光反射率 (ISO 白色度) の測定方法

注記 対応国際規格: ISO 3688, Pulps—Preparation of laboratory sheets for the measurement of diffuse